

秋田産業サポータークラブ 平成28年度のWG活動実績及び平成29年度WG活動計画について(報告)

番号	WG	平成29年度活動計画	平成29年度補助金申請有無	WGの目的	WG主査(敬称略)	平成28年度活動実績
1	企業振興育成WG	・秋田県内の企業と、首都圏の企業や人材などのネットワーク作りなどの支援。より具体的な成果やケーススタディの実現を目指す。 ・起業創造塾「あきた寺子屋」の第6回開催の実施	有	首都圏企業との受発注拡大や共同研究による新製品開発、新規産業育成等による県内企業、県内産業の振興を図る。	株式会社日経メディカル開発 代表取締役社長 鯨岡修	・2ヶ月に1回WG開催 ・平成28年11月26日(金) 第5回起業創造塾「あきた寺子屋」開催 参加者60名(メンバー、講師含む)
2	夢づくりWG	・秋田県と首都圏との文化芸能分野の連携プロジェクト～日本の玄関口・TOKYOと日本の奥座敷・AKITAをつなぐ～を開始する。	有	秋田の歴史、文化など豊かな資源を活かし、文化・教育・観光などを軸とした新しい事業分野の開拓や若い経営者などと連携し、若者が力を発揮できる環境作りを支援します。	株式会社わらび座 関東エリアチーフ 翠川真衣	・2ヶ月に1回WG開催 ・平成29年2月27日(土) シンポジウム「地域創生と文化」 参加者48名
3	地域連携観光振興WG	今年度は、大館市の「歴史まちづくり」の支援をテーマに活動する。 本年11月、大館市と協力して、市民参加の歴史的建造物とまち並みをめぐる「まち歩き」を計画している。まちづくりの専門家の同行と講演で市民の盛り上がりの切っ掛けづくりをめざしていく。	有	県内に埋もれている歴史や歴史的建造物を掘り起こし、保存・再生を図るとともに、ビジネス活用により地域再生を図る。	株式会社プロファーム 代表取締役 新谷和弘	・発足、3回WG開催 ・大館市「歴史まちづくり」への支援検討
4	北東北歴史懇話会	公開研究会 in 大館シンポⅢ 2017/10/21 —源義光と大館— 佐竹氏、浅利氏は源氏の新羅三郎義光の子孫である。大館市の歴史の基礎である両家の祖“源義光”をテーマに、大館市と中央市の友好関係と大館市の歴史街づくりを盛り上げる。	有	首都圏在住の方々に北東北の歴史を紹介し、北東北への観光誘客などを図る	株式会社交通新聞社 代表取締役社長 横山裕司	・幹事会4回開催 ・平成28年10月29日(土) 大館市中央公民館 公開研究in「大館シンポⅡ」開催 参加者約100名
5	秋田の地球熱利用・地域振興WG	昨年度に引き続き第3回目のシンポジウムを10月～12月頃を目標に開催する。今回は1次産業の六次化などにも焦点を当て、それによる秋田県における産業振興もシンポジウムの課題とする。	有	地熱や温泉水など国産の再生可能エネルギーである地球熱の有効な利用方法等について検討する。	川崎地質株式会社 顧問 田村八州夫	・平成29年1月16日(月) ルポールみずほ(秋田市) 太陽と地球のエネルギーブランチ開催 参加者61名
6	秋田杉活用と地域活性化WG	昨年度新たに能代市にWGの地元分科会を作った。今年6月末に能代において東京・地元メンバーの合同WGを実施し、今年度は地元拠点での活動の進め方を決める予定である。 ①天然秋田杉古木のストック状況調査 ②天然秋田杉古木の作品試作	有	環境性・安全性をテーマとした中層木造校舎への秋田杉の活用、秋田にある放置空家の再活用などを検討する。	建物安全性評価コンサルタント 代表 最上公彦	・平成29年度へ向けての準備期間
7	食と美と健康WG	第1回会議を5月8日に開催し、平成29年度活動概要を確認する。「こまち(小町)」等ブランド・マーケティング調査及び北秋田(森吉等)・八幡平地域を中心に情報収集を行う。八幡平での出口のビジネス化を検討する。バイオ健康食品等で医工連携分野との関わり方を検討する。概ね2か月に1回程度の会議を計画する。	有	秋田ならではの資源である食・温泉・自然・文化・伝統などをもとに、「美と健康」関連ビジネスを創出する。	日本薬科大学 客員教授 千葉良子	・発足、検討会3回開催(メンバー紹介、今後の取り組みなど)